

「還らざる学友の碑」に慶應義塾関係戦没者名簿を収納

2014/10/28 慶應義塾

10月27日、三田キャンパス塾監局前の庭園において、「還らざる学友の碑」に、「アジア太平洋戦争における慶應義塾関係戦没者名簿（白井厚編／慶應義塾福澤研究センター発行）」が納められました。

「還らざる学友の碑」は、先の戦争により学び舎に戻ることが叶わず、志半ばにして逝った学友を偲んで1998年に建立されたもので、同年11月7日には昭和16年から22年卒業の塾員を中心に1000名もの出席を得て碑の除幕式と献花が行われました。

碑には鳥居泰彦塾長（当時）の揮毫により「還らざる友よ／君の志はわれらが胸に生き／君の足音はわれらが学び舎に響き続けている」と碑文が刻まれています。

このたびその碑の側面に新たにつくられた収納場所に、施設・管理、塾員担当の渡部直樹常任理事が見守る中、総務担当の駒村圭吾常任理事の手により、名簿が納められました。

名簿には義塾出身の戦没者の氏名、卒業年、出身学部や学校、戦没年月日、戦没地などが記載されています。2007年の刊行以降判明した情報に基づいて補正を加えた上で、このたび碑に収納されました。この名簿は三田キャンパス塾員センターおよび総務部で閲覧することができます。戦争の記憶を忘れないために、塾生、塾員など多くの方がこの碑を訪れることが期待されます。



▲名簿の収納



▲「還らざる学友の碑」と渡部、駒村両常任理事



▲名簿が納められたことを記す碑文



▲「還らざる学友の碑」

撮影：石戸 晋